

対象とした既存サイトと異なり、同社が受託して業務内容や業務単価を精査し、仕事量に見合わな

### 隠れた生地産地、倉敷にも供給

広島県福山市周辺が日本屈指のデニム産地であることが広くPRする動きが熱を帯びてきた。同市と地元企業が「備中備後ジャパンデニムプロジェクト」と銘打ち、製造現場の見学会や新商品開発、デニムコンテストなどを展開。2月には中核3社がイタリアの国際見本市に初出展する。高品質な日本のデニムを世界のバイヤーに売り込み、ブランド確立を狙う。

### 買い手600社参加

「うちの生地は米ララルフローレンにも採用されている。ただ商社経由なので、どのブランドにどれだけ使われているのかわかりにくい。自ら輸出を手掛ければ、品質の高さを訴えながら低価格で国内市場に替わる販路を開拓できる」

2月5〜7日、イタリア・ミラノで開くテキスタイル展「ミラノ・ウニカ」に初出展する山陽染工（福山市）の戸板一平取締役は気分十分だ。売り込むのは独自開発した「段落ち抜染」技術。生地の色を抜いて柄を付ける染色法で、着色部分が

## 福山デニム 世界を染めろ



坂本デニムで備後デニムについて学ぶ見学会参加者（広島県福山市）

顔料の厚みでゴワゴワしがちな通常の染色の欠点を克服した。抜き方を調整して色のグラデーションもきれいにさせる。同展はパリの「ブルミエール・ビジョン」と並び称される世界的な生地展示会で、約6千社のバイヤーが訪れる。「高品質なデニムが評価される欧米市場の窓口」（戸板取締役）と見て、共同出展する篠原テキスタイル（福山市）も備後併（が）シレンマがあった。そこで福山市はプロジェクトを組織、産地の物は藍染めを進化させた技術を披露する。

### 見学会でもPR

製品の産地は岡山県倉敷市など有名だが、生地は「9割前後が、かつて備後併の産地として栄えた福山や井原などで生産されているとみられる」

ただ、素材だけに消費者への浸透度は低く「せっかくの有力産地がブランドになりきれしていない」

「伝来の織り技術を、日本綿布（岡山県井原市）は藍染めを進化させた技術を披露する。

様々なPR活動に乗り出

## 独自の技結集、ミラノに出展

1月には坂本デニム（福山市）など有力企業の見学会も企画。「自社製品にデニムを生かしたい」と浜松市から参加した会社員の平井利枝さん（34）と近藤美祝さん（24）は「倉敷デニムは知っていたが、福山も有力産地とは知らなかった」と言いつつも「今日は勉強になった」と話した。

「福山市が首都圏で行う調査でも、デニム産地としての知名度はわずかだが上がってきている」（産業振興課）。坂本デニムの村上和美統括部長も「ブランド力が上がれば人材採用にも追い風」と期待する。

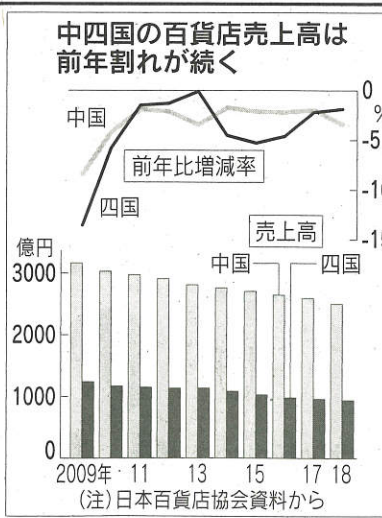
ただ日本ジーンズ協会によると、2012年までの10年でジーンズの国内生産量は約35%減った。13年以降は統計がないが、内需は減り続けている模様だ。突破口は海外。技術力に自信を持つ備後企業には「日本の高度なものづくりが評価される欧米市場に打って出て、世界が認めるブランドを目指す」との思いが強い。

（福山支局長 増淵 隆）

## 百貨店売上高3.4%減

### 5県18年 西日本豪雨追い打ち

中国四国百貨店協会が23日発表した2018年の百貨店売上高は、中国に伴う落ち込みもあり、5県が前年比3.4%減の2506億7700万円、4国4県は1.9%減の942億7600万円。閉鎖店舗の売り上げを



## 休廃業・解散1614件

### 5県18年、倒産数の4.3倍

民間調べ

帝国データバンク広島支店がまとめた中国5県企業の休廃業・解散動向調査によると、2018年の休廃業・解散件数は1614件と前年に比べ11%減った。5年連続で減少するも、18年の倒産数は前年比21%減の84件数（372件）の4.6倍、「解散」は3%増を占めた。

広島支局 082-2342-1115  
福山支局 084-9324-3345